



31st

藤枝南ロータリークラブ 会報

例会：毎週金曜日
会場：小杉苑 藤枝市青木2-35-30
TEL：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内 藤枝市藤枝4-7-16
TEL：054-646-3919 FAX：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2021-22年度
会長：竹田敏和 幹事：望月 誠
副会長：樽井 勉 副幹事：鈴木寿幸

例会 第1422回 藤枝・藤枝南合同例会/小杉苑

ソング：君が代、奉仕の理想 ソングリーダー：小山明良君

■ 会長挨拶

竹田敏和君



本日の例会は、藤枝クラブと合同でのガバナー公式訪問例会です。

小林ガバナーをはじめとする訪問団の皆様、本日は誠にありがとうございます。

2620 地区には 77 のクラブがあり、静岡県 5 グループ、山梨県 3 グループに分けられています。日本には 34 の地区があり、3 ゾーンに分かれています。

私たちは、自分のクラブに所属していますが、日本中と、そして世界中とつながっています。今日は、地区のガバナーをお招きして地区の運営方針、取組等のお話をいただきます。地区大会は来年の 5 月となりました。年度初めに、お話いただけることは、私たちにとってとても有意義な機会です。今後のクラブ運営に役立てたいと思います。

ただ、コロナ感染が止まりません。8 月 4 日にはついに 202 人の感染となり、「ステージ 4」に引き上げられました。8 月 8 日から 31 日まで、まん延防止等重点措置の摘要地域に追加されることが決定されました。今日の例会もどうしようか迷いましたが、できる限りの感染防止措置を取り、開催することにしました。会場も広く取り、スク

ール形式に机を配置し、1 人掛けとさせていただきます。食事はお弁当にして例会後にお持ち帰りいただきます。この後、小林ガバナーにお話をいただきます。

本日はよろしくお願いたします。

■ 出席報告

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
42/51 82.35%	47/51 92.15%

(1)欠席者（事前連絡とメイクアップをどうぞ）

○池ヶ谷君○江崎君○川口君○鈴木照君○樽井君
○中村君○淵脇君○森竹君

(1)メイクアップ者

鈴木照君（藤枝）

食事準備数	食事提供数	残	累計残
43	43	0	5

パーフェクト例会数：😊😊😊

欠席連絡は、前日までにお願します



■ ガバナー挨拶



国際ロータリー第 2620 地区

ガバナー 小林聡一郎様 (甲府北RC)

共存の中にこそ自分を生かす道がある

私たちはクラブをかけがいのない場と思い、例会を友愛や学びの場として尊く思ってきました。そして互いを思いやりながら、その心を地域や世界に向けて視野を広げ、活動を広げてきました。日本的な感性でそのようなロータリーを形成し発展させてきたのだと思いますが、日本という風土に見事に適合したロータリーだと思います。

一方世界的には、奉仕活動を主体にロータリーを考える傾向にあり、ロータリー財団のポリオ根絶を始めとする取り組みのように、より多くの会員でより大きな奉仕活動を目指すこととなります。実際世界では、それだけ多くのニーズが存在し、ロータリアンの支援を必要としていることも現実です。

ロータリーには最高絶対の単一概念が存在しません。常に「奉仕と親睦」「利己と利他」のように相対的に考えることを要求されますので、一つに決めつけるのではなく、日本的感性のロータリーと奉仕活動の世界のロータリーとを、どのように考えるのかということになります。

でもこれは今の私たちにとっては、相反することではありません。どちらか一方のロータリーしかないのではなく、その両方のバランスを上手にとりながらクラブに軸足を置いて、地域や世界で奉仕活動をしているという姿ではないでしょうか。当然クラブや例会を自己研鑽の機会と捉えてもいるでしょうし、人格形成の場ともしているでしょう。そしてそういう自分を他者のために活かすことも大きな使命とと思っているのだと思います。一人では生きられない共存の中にこそ自分を生かす道があるということだと思えます。

RI 会長テーマ「SERVE TO CHANGE LIVES」

今年度のシェカール・メータ RI 会長はテーマに「SERVE TO CHANGE LIVES 奉仕しようーみんなの人生を豊かにするために」を掲げられました。そしてキーワードは「GROW MORE DO MORE」で、若い世代と女性をロータリーに迎え入れて会員基

盤を強くし、人々の人生が豊かになるよう奉仕活動をしましょう、と要請されました。世界的なニーズに応えるロータリーの傾向に合致した年度テーマだと思います。

地区においてクラブにおいてこの要請をどのように具現化するのかということで、会員基盤の強化については私なりの取組方策を提示させていただき、ロータリー奉仕デーについては各クラブに計画・実施していただくことにしております。会長始め会員皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

Online で新たなつながりを

ワクチン接種が進んでいるとはいえコロナ禍で視界不良のクラブ運営になりますのでご苦勞されると思いますが、クラブに軸足を置いた例会と奉仕活動のバランスを上手にとって、会員相互の連携を強め、地域や世界で奉仕活動をしてくださいようお願いいたします。

コロナ禍を経験した私たちは、online での新たな繋がり方を手に入れました。Online 開催の地区 RLI は何回もの実績を礎として、全国的にもトップクラスと高評価されていますし、各クラブにおいてもハイブリット例会や online 例会なども行われています。窮屈で不自由なコロナ禍でも人と人との繋がりには有効な方法ですので活用いただきたいと思えます。

ロータリー未来形成(Shaping Rotary's Future)

今年初めに RI は「未来形成 (SRF)」という新たなプラン概要を提示しました。主には 2030 年から始める管理方法改革のためのプランで、2022 年 4 月の規定審議会での審議対象になると言われています。現在分っているのはここまでで、これから提示に対しての意見を取り入れながら形成されていくことですから、具体的にどのようなものになるのかは現状でははっきりしません。しかしこのようなロータリーの未来に向けての取り組みが始まっていることだけのご承知置きいただきたいと思えます。今年度これがどのように動き、地区としてどのように対処していくのかも手探り状態ですが、将来の地区にとって不利にならないような検討だけはしていかなければならないと思っています。

クラブ会長、幹事を始め、会員の皆さまと一緒に、本年度の第 2620 地区が「GROW MORE DO MORE」出来ますよう、ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
8/20(金) 第 1423 回	お弁当配布例会	小杉苑
8/27(金) 第 1424 回	お弁当配布例会	小杉苑
9/3(金) 第 1425 回	会員卓話	理事会
9/10(金) 第 1426 回	会員卓話	小杉苑



藤枝・藤枝南合同例会

